

“加賀ぞうがん”を 科学しよう！

加賀藩の時代の初めごろ、京都から‘ぞうがん’の名人が金沢にまねかれて、‘加賀ぞうがん’ができました。金・銀・鉄に、他の金属をはめこむ細工は、もともとは刀や馬具に用いられました。中でも鐙にはめこまれたものは、衝撃に強く、デザインがすぐれていて、天下の名品といわれました。現在も装飾品などが作られ、伝統工芸として続いています。



金銀象嵌獅子香炉 (公財)宗桂会

日時

令和8年7月31日 (金)

午前の部： 9:30～11:30 (集合 8:50 解散12:00)

午後の部： 13:30～15:30 (集合12:50 解散16:00)

※当日は金沢子ども科学財団から会場までバスで移動します

主催

公益財団法人宗桂会
公益財団法人金沢子ども科学財団

会場

宗桂会館
(金沢市北陽台3-1)
※会場には直接行けません

募集

小学4～6年生 各回6人
(応募多数の場合は抽選)

参加費

300円
(当日集金します)

内容

加賀ぞうがん作品
見学後、オリジナルキーホルダー
を作ります



申込

金沢子ども科学財団ホームページのイベントカレンダーからお申し込みください

応募〆切
7月21日(火)

